

用語集

No	用語	説明
1	AI	Artificial Intelligence の略。 人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術のこと。
2	BPR	Business Process Reengineering の略。 現在の業務プロセスを詳細に調査・分解し、サービスの質の向上や人的リソースの活用等の面からどのような問題点があるかを徹底的に分析して、業務プロセスそのものの再構築を図ること。
3	CIO	Chief Information Officer の略。 最高情報統括責任者のことで、沼津市では政策推進部所管の副市長がこの職にあたる。情報化施策に関する方針・立案に関することやデジタル・ガバメントの推進に関する事務を統括する役割を持つ。
4	DX	Digital Transformation の略。 デジタル技術の活用による新たな商品・サービスの提供、新たなビジネスモデルの開発を通して、社会制度や組織文化なども変革していくような取り組みを指す概念のこと。
5	GIS	Geographic Information Systemの略。 地理情報および付加情報をコンピュータ上で作成・保存・利用・管理・表示・検索するシステムのこと。
6	ICT	Information and Communication Technology の略。 インターネットやパソコンなどの情報通信機器を用いて行うコミュニケーションを実現する情報通信技術のこと。
7	QOL	Quality of Life の略。 一人ひとりの人生の内容の質や社会的にみた「生活の質」のことを指し、ある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているかということをも尺度として捉えることができる。
8	RPA	Robotic Process Automation の略。 ロボットによる業務自動化のこと。従来よりも少ない人数で生産力を高めることができる。
9	SE	Systems Engineer の略。システムエンジニア。 ソフトウェア開発の現場においてプログラムの仕様書や設計書の作成、実際の開発やテストを担当する人のこと。
10	SNS	Social Networking Service の略。 Webサイト上で文章や写真、動画などを共有できるコミュニケーションサービスであり、LINE、X、Instagram、Facebook、YouTube、Tik Tokなど様々なSNSがある。

用語集

No	用語	説明
11	X-Tech NUMAZU	沼津市が推進する「沼津版スマートシティ」プロジェクトのこと。令和3年6月、地域課題の解決や市民の利便性及び生活の質の向上を図るための活動にICTなどの先端技術を活用しながら産学官一体となって取り組むためにX-Tech NUMAZU協議会を設立。
12	システムベンダー	システムの開発、導入、運用、保守を行うIT企業のこと。
13	情報セキュリティポリシー	保有する個人情報や技術・ノウハウなどの重要な情報資産をあらゆる脅威から守るための情報セキュリティに関する方針のこと。
14	スマート窓口	マイナンバーカードの読み取りなどデジタル技術を活用し、来庁者が手書きすることなく申請書類を作成できる書かない窓口サービスをはじめ、住民サービスの向上と自治体職員の事務負担軽減を目的とした窓口システムのこと。
15	生成AI	文字や音声などの入力に対して、学習データをもとにテキストや画像、動画などの新たなコンテンツを作成できるAI（人工知能）のこと。
16	タブレット端末	スマートフォンと同様、モバイルデジタル機器の一種で、タッチパネルを備え、主に指で操作するデバイス機器のこと。
17	デジタル社会	インターネットなどにより多様な情報・知識を世界的規模で入手・共有・発信し、先端技術をはじめとする情報通信技術により多様かつ大量データを適正かつ効果的に活用することにより、あらゆる分野において創造的で活力ある発展が可能となる社会のこと。
18	ペーパーレス	紙媒体で記録・保存されてきた文書や資料などを電子化し、業務効率と生産性を高めながら固定費の削減や環境保護に貢献すること。
19	ローコード・ノーコードツール	難しいプログラミングをしなくても、画面上の操作や設定だけで簡単にアプリやシステムを作れる仕組みのこと。